

被災した子供の心のケアを行う 「広島県こども支援チーム」について

- 「こども支援チーム」は、大規模災害発生時に、広島県災害時公衆衛生チームや災害派遣精神医療チーム（広島DPA T）等と連携して、精神科医、小児科医などを中心に子供の心のケアを行うことを目的に活動するチームです。
- 次のような子供等を対象に支援を行います。

- ①保護者、親類、友人等を亡くした子供
- ②被災した、又は直接被災していないが被災地域に居住しており支援が必要と思われる子供
- ③前各号の子供の保護者等

【こども支援チームについて】

■経緯

平成 22 年 7 月の庄原豪雨災害時に、子供の心のケアに特化した専門家チームの必要性が提唱されて結成。平成 26 年 8 月の広島市豪雨災害で 2 回目の活動。

構成機関（H26 年 8 月）

広島大学，県医師会，県小児科医会，協力病院（松田病院，浅田病院，舟入市民病院），県臨床心理士会，県保育連盟，県こども家庭センター（西部・東部・北部），広島市児童相談所等

■チーム構成

精神科医，小児科医，心理学専門家，児童心理司（児相），事務職員等

■活動内容

- ・避難所等での子供等との面接及び支援方法の決定
- ・子供の支援者（保育士，教職員，保健師，スクールカウンセラー等）への研修 等

■活動期間

大規模災害が発生したときから，PTSD（心的外傷後ストレス障害）への対応も考慮し，発災後，概ね 1 年間を目途に継続的に活動

〈事務局：県健康福祉局こども家庭課〉